



# スマイル! TOGO

自分らしく生きる力を身につけ、  
なかまとたくましく歩む子

福井市東郷小学校 学校だより  
令和5年6月2日 第7号  
TEL 41-0003 FAX 41-0974  
Mail togo-e@fukui-city.ed.jp

## 5/26(金) 今年度第1回「避難訓練」を行いました

今年度第1回目の訓練です。地震が起こった後、家庭科室から出火したという想定で行いました。毎回の訓練で全員に求めることは一つ、「命を守るため真剣に行くこと」です。

- ①地震直後の放送の指示で「身を守る行動を取る」、そして「次の指示を待つ」
- ②火災発生後の放送の指示で「避難行動を取る」(今回は体育館への避難)
- ③避難後、全員確認や次の指示まで「静かに待つ」

これらについて事前指導を丁寧に行い、当日はどの児童も職員も、実に真剣に訓練を行うことができました。当日指導にこられた福井東消防署の方、本校消防設備担当者の方どちらも、「こんなに真剣に静かに訓練できている学校はなかなかないです。素晴らしかったです。」と、最大級のお褒めの言葉をいただきました。

今回は、『ひなんくんれん がっこうにある、いのちをまもるたいせつなもの』という題で、写真(パワーポイント)を使って私から話をしました。「学校には『命』を守るための大切な設備がたくさんある。それらの存在に、ちゃんと気づいてほしい。いざというときのため、どんな風に使われるのか(使うのか)、ちゃんと分かっているほしい。」というのがねらい(願い)です。

「火災報知器」のボタンの位置確認と、非常時は押すことの確認。報知器の下に持ち出し非常電話を差し込む穴があり、職員室と直接会話ができること。「消火栓」の扉を開けた中身(ホース)の確認。「消火器」は各階に複数あることの確認。非常時は煙や熱を感知して閉まる「防火扉」、閉まっても、自分で開けて避難できること。

そして、「自分で使うことがあるかも知れない。自分で使えないときは、近くの人(大人や上級生)が使うかも知れない。」という心の準備をしておくことが大事ということや、「いざというときに使えるようにしておくために、平常時は絶対にさわらない。」ということも確認しました。児童全員、実に真剣に聞き、「自分事」としてとらえていました。



拡大



持ち出し電話差し込み口  
非常時に押すボタン

(左写真→)北校舎2階廊下  
トイレ側から  
(右写真→)北校舎2階廊下  
図書室側から



↑どちらの側からも消火器が備えられています

↓扉を開けると...



(←左写真)南校舎2階階段にある防火扉

(←右写真)2階渡廊下にある防火扉

防火扉には中扉があるものもあります。閉まっても自分で開けて避難できるようになっていますね。

最後に、代表して6年生が消火器体験を行い、訓練は終了しました。

「保護者の方にも訓練を公開しご理解をいただく。そして、いただいたご意見をよりよい学校安全教育につなげる。」が今年度スクールプランに載せた重点目標(具体的取組)です。参観してくださった保護者の方のご意見を載せさせていただきます。



<参観した保護者の方からのご意見・ご感想>

- ・体育館で校長先生が設備の説明をされていて、私も知らないことがあり、とても勉強になりました。子どもたちも普段何気なく見ているものですが、使い方や仕様など分からないことについて写真で説明があり、理解しやすかったのではないかと思います。校長先生もおっしゃっていましたが、授業中だけでなく、あらゆる場面(トイレ中や図書室にいるときなど…)での訓練をしていくことで、災害時、落ち着いて行動できるようになってほしいと思います。(1年生・3年生保護者)
- ・みんな真剣に取り組んでいて、よかったです。訓練後のお話も分かりやすく、子どもたちもしっかり聞いていたこともよかったです。(1年生・2年生保護者)
- ・1年2組を参観させていただきました。子どもたちが皆静かに真面目に取り組んでいる姿を見て、とても感心しました。校長先生が体育館で消火器などの説明をくださったので、子どもたちはとても勉強になったと思います。これからいろいろな種類、状況で避難訓練を行いたい、と校長先生がおっしゃっていたので、子どもたちが多くのことを経験できることを期待しております。(1年生保護者)
- ・避難訓練の参観は初めてなので、参観できてよかったです。子どもたちは皆、真剣に取り組んでいましたね。今後、休み時間中の訓練も行う予定だと伺い、いろいろな状況で訓練することは必要だと思いました。(1年生・6年生保護者)

<児童振り返りより(中略あり)>

- ・こうどうをしっかりしてじぶんのいのちをまもれてよかったです。せんせいのほなしをよくききました。ひなんするときドキドキしました。(1-1 Fさん)
- ・こわかったです。ふざけず、つくえの足をもちました。いのちをまもるためにいろいろなくふうが(学校に)あるとわかりました。(2-2 Yさん)
- ・しょうぼうしょの人の話を聞いて、けむりは、横に進むのは歩くスピードくらいなのをはじめて知りました。たてに進むのは走るよりも少しはやいと知り、びっくりしました。けむりは上に上がるのがはやいんだと思いました。(3-1 Yさん)
- ・わたしは消火器を使ってみたいと思いました。ひじょうベルのところで電話をすることは知らなかったし、すごいと思いました。先生たちは、どういうことをしているか、気になったので聞きたいと思いました。(4-1 Kさん)
- ・しゃべらずに真剣に取り組めました。いつ何が起こるか分からないし、そんな時に備えて避難訓練があると思うので、ちょっとしかない避難訓練を大事に取り組んでいきます。(5-1 Mさん)
- ・今日の避難訓練で改めて、地震や火事でどう行動すればいいのかがわかりました。消火器の場所や、消火栓の仕組みと、中身を知ることができました。起きてほしくないですが、火事や地震が起きたとき、この訓練を生かしたいと思います。消火器体験は初めてだったけど、いい体験になりました。(6-1 Kさん)



全校児童振り返り「自分で考えて真剣に訓練できたか」 できた:97%

安全安心な学校づくりのため、今後も安全教育や様々な場面を想定した訓練等の充実を図って参ります。ご参加いただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。